

2026年7月10日（金）
支笏湖Beer

ビールを飲むことが、支笏湖を守ることにつながる。

山を学び、自然を想う「リユースカップ」誕生。

「あの山、何ていう名前？」

支笏湖の外輪山をデザインした"学べるビアカップ"。

7月18日開催「スカイ・ビア&YOSAKOI祭」で初披露

北海道千歳市・支笏湖の水を仕込み水に使ったクラフトビールを醸造する「支笏湖Beer（北海道千歳市）代表：佐藤暁子」は、繰り返し使えるオリジナルデザインのリユースカップを制作しました。デビューは、2026年7月18日（土）から20日（月・祝）まで開催される2026スカイ・ビア&YOSAKOIまつり。イベント会場では、このリユースカップにビールを注いで販売します。

「自然を守りたい」と始めた事業なのに、大量のプラスチックごみを出していた。

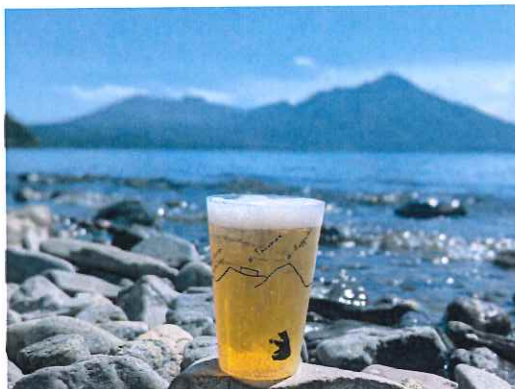


支笏湖Beerは、支笏湖の豊かな水を使ってクラフトビールを醸造しています。一方でイベントへ出店するたびに、多くの使い捨てプラスチックカップを使用していました。

「自然を守りたい」という想いで始めた事業なのに、自分たちが大量のプラスチックごみを出している。その矛盾に気付いたことが、このリユースカップ誕生のきっかけです。

さらに、お客様から「このカップについてくれたらいいのに。」という声も多く寄せられ、繰り返し使えるカップの製作を決意しました。

支笏湖丸ごと持ち歩けるビアカップ



今回制作したリユースカップには、支笏湖を囲む外輪山の稜線をぐるりと一周デザインしました。

樽前山、風不死岳、恵庭岳、紋別岳、イチャンコッペ山、モラップ山&キムンモラップ山、の7座の山の名前を記載。実際に湖畔へ行くと、「あれが樽前山なんだ。」

「今日は恵庭岳がよく見えるね。」そんな会話が自然に生まれるデザインになっています。山を知ることが、自然への興味につながる。そんな"学べるビアカップ"を目指しました。

子どもたちとの会話が、未来の自然保護につながれば。



このカップは、大人だけでなく子どもたちにも楽しんでもらえるデザインです。湖を眺めながら

「あの山は何ていう名前？」

そんな親子の何気ない会話が、山や森、水への興味につながることを願っています。

支笏湖の美しい水は、周囲の山々や森が育んでいます。その水で仕込んだビールを楽しみながら、自然について少しだけ考える。そんな時間を届けたいと考えています。

偶然生まれた"360"

今回のリユースカップの容量は360ml。製作後に気付いたことですが、支笏湖の最大深度も約360m。偶然とは思えない数字の一致も、このカップならではの小さなストーリーになっています。



2026スカイ・ビアYOSAKOI祭で初お披露目。

リユースカップは、7月18日（土）～20日（月・祝）開催の2026スカイビアYOSAKOIまつり（千歳市・グリーンベルト）で初登場します。支笏湖Beerブースでは6種類のクラフトビールを提供。通常サイズに加え、リユースカップ付きでの販売を行います。

販売価格：リユースカップ（ビール付き） 1,500円、同カップでのおかわり 800円
イベント終了後は、支笏湖周辺のホテルなどでの販売も予定しています。

支笏湖Beer代表コメント

支笏湖の水でビールを造っているからこそ、その自然を守る行動を形にしたいと思いました。このカップが、ごみを減らすだけでなく、「あの山は何だろう？」と自然に目を向けるきっかけになれば嬉しいです。美味しいビールを飲み続けるためにも、美しい支笏湖を未来へ残していきたい。その想いを、この一杯に込めました。

支笏湖Beerについて

支笏湖Beerは、支笏湖の水を使用して醸造するクラフトビールブランドです。樽前山をモチーフにした「タルマエール」、恵庭岳をモチーフにした「エニーマイラブ」、風不死岳をモチーフにした「フップシベア」など、支笏湖の自然をテーマにしたクラフトビールを展開しています。売上の一部は、支笏湖の自然環境保全活動に役立てることを目的として活用しています。

《この資料に関するお問合せ》

支笏湖Beer 代表 佐藤暁子（さとうあきこ）

TEL：080-1898 - 2927 Mail：shikotsuko.beer@gmail.com

HP：制作中

Instagram：

@shikotsuko_beer(https://www.instagram.com/shikotsuko_beer/)

